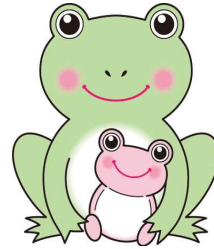


# ケロちゃん通信

2018年 12月 第42号



ながおか医療生協  
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryousaikyou.jp/>

## 診療案内

☆ あっという間に1年が過ぎ、もう師走です。平成最後の年末年始を迎えます。今年は暖冬という予想ですが、予想は当たるでしょうか。個人的には、暖冬であってほしいと願っています。

☆ 屋外の花の季節は終わりですが、来春には当院前の植栽も充実させたいと思っています。来春用のチューリップもプランターに植えたので、春が楽しみです。

☆ インフルエンザワクチンも終盤になります。早々に予約数に達し、希望通りに予約できなかった方には申し訳ございませんでした。インフルエンザ自体の本格的な流行はまだですが、いよいよ冬本番です。体調には気をつけましょう。

☆ 地域の小さな診療所ですが、今年もご利用いただきありがとうございました。今年は体調を崩すこともなく予定外の休診もなく過ごせました。本年は、かかりつけ医制度の導入をしようと思っておりましたが諸事情でまだ実現できておりません。来年に向けて、診療時間の変更、オンライン診療の導入も含め検討していきたいと思っております。体力をつけ体調を崩さないようがんばりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### 12月の診療予定:

本間医師 (7日午前・午後 21日午前)  
年末年始のお休み

12月30日ー1月3日は休診にさせていただきます。

12月29日(土)午前は通常通り診療を行います。

受付開始: 一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

#### ☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。  
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。  
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。  
緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**: スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください(2ヶ月後の予約までできます)。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

#### ☆専門外来

①**発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制)** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約可)**

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

# こどものおっぱいがふくらんできた

「赤ちゃんのおっぱいにしこりがあるのですが、大丈夫でしょうか?」「まだ2歳にもなっていないのに、おっぱいが膨らんできました」「男の子なのに、おっぱいが膨らんできました」などの心配はめずらしいことではありません。さまざまな原因が考えられますが、新生児の場合は「乳房腫大」、2歳以下の女の子の場合なら「早発乳房」、思春期の男の子の場合なら「女性化乳房」だと考えられます。

## ＜新生児期の乳房腫大＞

赤ちゃんは生まれる前に、胎盤を通してお母さんの女性ホルモンの影響を受けます。この女性ホルモンの刺激によって、生まれたばかりの赤ちゃんの乳腺が膨らむことがあります。これは、魔乳（まにゅう）とも呼ばれ、男の子でも女の子でもなる可能性があります。コリコリしたしこりになって、お乳が出ることもあります。心配ありません。無理に絞り出そうとすると、かえって乳腺を刺激してしまうことになるので、放っておくことです。特に治療の必要はなく、ほとんどが2～3週間くらいで自然消滅します。

## ＜早発乳房＞

他に性早熟傾向と思われる症状がないのに、乳腺だけが大きくなってくる一時的なホルモン亢進による症状です。ほとんどが2歳以下および7歳前後の女の子に見られます。両方の乳房や乳腺が膨らんできますが、一時的なもので、どんどん大きくなって大人の女性のようになる、ということはありません。はっきりとした原因はわかっていませんが、卵巣から分泌される女性ホルモンが一時的に出過ぎるのが原因だと考えられています。特に治療の必要はなく、ほとんどが数年の間に自然に消滅します。

## ＜女性化乳房＞

男の子なのに乳腺が膨らんできた、痛みもあると心配して受診することもあります。思春期の男の子の60%になると言われている程、比較的一般的なことです。思春期は、ホルモンバランスが崩れやすく、それが原因で一時的に胸が膨らむことがあります。自然に消失します。しかし、極めて稀にホルモンの病気の事もあるので、心配な時は一度ご来院ください。

## ＜思春期早発症＞

乳房以外に、身長が急激に伸びてきたり、陰毛や脇毛が生え始めたり、月経が始まったりといった症状が見られる場合は、思春期早発症というホルモンの病気が疑われます。原因として脳腫瘍などがあることもありますので、精密な検査が必要になります。早期にホルモンが分泌されることで、骨の成長が早く止まり低身長になる場合があります。乳房だけ、あるいは陰毛だけが早発しても、性ホルモンの増加がみられない部分的思春期早発症もあります(早発乳房、早発陰毛)。

下記の症状が見られる場合や、ご心配がある方はぜひご相談ください。

男児：9歳までに睾丸が発育、10歳までに陰毛、11歳までにわき毛、ひげ、声変わり

女児：7歳半以前に乳房腫大、8歳以前に陰毛、わき毛、10歳半以前に月経

